

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前 期

科目No.	405	科目名	リスク学特論1		サブネーム	「金融とリスク」～持続可能な経済社会の発展を如何に支えるか～		
連携機関	三菱UFJ信託銀行・社会技術革新学会	レベル	基礎	講義日時	火曜日18:30～20:00	講義場所	お茶の水女子大学	
科目概要	「持続可能な発展」を実現するためには、GDP・企業業績といった経済成長の追及のみならず、近年、深刻さが増している化学物質、地球温暖化といった環境・安全問題や、少子高齢化をはじめとした社会問題、企業不祥事などの企業統治上の問題にも真摯に取り組み、「持続可能な発展」を担う個々の主体が、それぞれの社会的責任を果たしていく必要がある。本講座では、経済活動全般を支える「金融」の視点から、「金融」活動が経済社会に及ぼす影響とリスクについて解説すると共に、「持続的な経済社会の発展」に向けた「金融」の役割について考える。							

サブタイトル	No.	講義名	講 義 概 要	講義日	教室	講師名	所属
金融リスクと企業統治	1	金融の役割とリスク	金融が経済社会に及ぼす影響の大きさ、世界の金融の潮流を概観し、地球環境問題に対する金融の役割やその重要性とリスクについて解説する。併せて、本講座の概要と事例研究を中心とした全体の流れに関するガイダンスを行う。	4月15日	共通講義棟 1号館301	CSR室 名淵 一茂	三菱UFJ信託銀行 経営企画部
	2	金融におけるリスクと企業統治・内部統制の強化	金融が持続的な経済社会の発展に及ぼす影響の大きさを鑑みながら、日米法令に基づく財務報告に係る内部統制への取組み状況を題材にして、金融におけるリスクと企業統治・内部統制の重要性について解説する。	4月22日		財務報告統制グループ 中野 綾子	三菱UFJ信託銀行 経営管理部
	3	金融機能の多様化に対応するコンプライアンス	金融機能の多様化と情報化社会の進展によって、法規制の改定(金融商品取引法)や新たな法律(個人情報保護法)が制定されるなど、金融を取り巻く環境は時代と共に変化している。実例を交えながら、金融におけるコンプライアンスの現状と今後の課題について解説する。	5月13日		コンプライアンス 企画グループ 黒田 用二郎	三菱UFJ信託銀行 コンプライアンス統括部
	4	日本におけるコーポレート・ガバナンスの具体的な展開と効果	不祥事や企業買収事案の増加を背景に、コーポレート・ガバナンスの重要性が一段と高まっている。コーポレート・ガバナンス強化策の1つである議決権行使の日本の現状に着目し、議決権行使と不祥事・企業買収との関係を解説すると共に、企業価値の毀損リスクについて考える。	5月20日		運用企画グループ 山田 博之	三菱UFJ信託銀行 株式運用部
金融機能と環境リスク	5	排出権取引の現況と地球環境リスクへの効用	近年、地球温暖化防止策の1つとして、二酸化炭素の削減に向けた排出権取引が注目されている。その現況を解説すると共に、排出権取引の環境リスクへの効果と課題について整理する。	5月27日		デベロップメントグループ 平 康一	三菱UFJ信託銀行フロン ティア戦略企画部
	6	環境分野において期待される金融機関の役割	新たな金融手法である震災時発動型ファイナンスやクリーンエネルギー・リサイクルビジネス等の分野に対するファイナンスにおいて期待される今後の金融機関の役割について考える。	6月3日		BSG 伊東 猛	三菱UFJ信託銀行 法人企画推進部
	7	土壤汚染による環境リスクと金融の役割	化学物質による土壤汚染の事例研究を中心に、土壤汚染による環境への影響や環境リスクを軽減していくための対策、金融機関への社会的要請などについて言及する。	6月10日		森島 義博	三菱UFJ信託銀行不動産 コンサルティング部
	8	環境保全信託の仕組みと効用	金融機能を活用した環境への取り組みの1つである環境保全信託の現状と、その仕組みや効用について解説する。今後の環境保全信託の可能性についても考える。	6月17日		戦略グループ 本多 祥展	三菱UFJ信託銀行 リテール企画部
金融を活用した社会への貢献	9	知的財産信託の仕組みと今後の可能性	2004年12月の信託業法改正により取り扱いが可能となった知的財産信託の仕組みと金融機関が社会的貢献を果たしていく上での知的財産信託の活用方法や、メリット、課題などについても解説する。	6月24日		知的財産グループ 高元 幸治郎	三菱UFJ信託銀行 資金金融第1部
	10	人事制度と企業年金を通じた高齢化社会への対応	少子高齢化が進む中、人事制度や企業年金の仕組みについて改めて再考し、持続可能な社会の構築に向けた人事制度のあり方と、高齢化社会における年金の役割について考える。	7月1日		リサーチグループ 神山 紀子	三菱UFJ信託銀行年金コ ンサルティング部
	11	従業員が経営へ参画するための新たなアプローチとその効果	海外の事例を交え、経済社会を担う従業員の労働に対する志気を高めていくための金融の役割について紹介するとともに、その機能の活用方法と効果について解説する。	7月8日		星 治	三菱UFJ信託銀行 フロンティア戦略企画部
持続可能な発展に向けた金融の展開	12	環境や社会に配慮した不動産投資の動向	2007年上半期に行われた世界の不動産投資は3,850億米ドルと言われる。拡大する不動産投資と環境問題との関連について、環境に配慮した不動産への投資は、環境改善と運用パフォーマンスの双方に効果があるとする海外の投資事例を研究しながら考える。	7月15日		企画グループ 高井敏男	三菱UFJ信託銀行 不動産企画部
	13	SRIの世界動向	資金の流れが間接金融から直接金融にシフトする中、近年、年金基金を中心とした運用機能への注目が高まっている。国連、政府当局、経済団体などにおける取り組みを概観すると共に、環境・社会・企業統治上の問題を考慮した運用であるSRIと受託者責任について検討を加える。	7月22日		業務戦略グループ 加藤 正裕	三菱UFJ信託銀行 投資企画部
	14	SRIファンドの潮流	企業の財務面に加え、非財務面も考慮した運用であるSRIの潮流について解説する。環境、社会、企業統治の問題が運用パフォーマンスに影響を及ぼすという見方が強まる中、持続的な経済社会の成長に寄与するSRIのあるべき方向性について論じる。	7月29日			
	15	日本における個人向けSRI投信の動向	日本の個人金融資産は1,500兆円を超える。日本の個人向けSRI投信市場の現状について整理し、個人金融資産の流れを持続可能な発展に配慮されたものに変えていくために必要となる施策について考える。	8月5日		リテール企画グループ 佐藤 剛	三菱UFJ信託銀行 リテール企画部

2008/3/13 教室の記載、2008/3/21 講義No.1講師の交替、2008/4/4 講義No.9(6月24日)およびNo.13(7月22日)の講師交替、2008/5/21 講義No.12(7月15日)講師の変更、2008/6/11 講義No.13(7月22日)講師の変更。